

2018全道一斉 山のトイレデー ファイナル（実施要領）

1. 日時

2018年9月2日（日曜日）

※都合や天候にあわせて9月2日（日）にこだわらず実施していただいて結構です。

2. 場所

全道の主要山岳地の登山口および登山道

3. 目的

登山者の山中での排泄物の影響について、より多くの登山者に広く知って頂き、山のトイレ問題の解決を目指す当会の活動への理解と協力を求める。特に今回は、当会の主な取組みの一つである「トイレ紙の持ち帰り」を再度、登山者に呼びかける活動を行います。

4. 参加者・参加資格

山のトイレを考える会、および会の趣旨に賛同する方なら何方でも参加可能です。

5. 活動内容

（ア）登山口に当会の幟を立て、その下でマナー袋やマナーガイド袋等を配布し、登山者に呼びかける。または、幟をもち、登山しながらマナー袋等を配布し、登山者に呼びかける。呼びかける基本事項は、

- ① 山に入る前にはトイレへ行こう
- ② できるだけトイレで用を足そう
- ③ トイレにゴミは捨てないで
- ④ 使用済みの紙は必ず持ち帰ろう

※登山口及び山中でトイレ使用時にも紙を持ち帰る。理由は汲み取りまでの期間を延ばせるためです。

- ⑤ 携帯トイレも使ってみよう

（イ）登山道を歩きながら、トイレ紙・ゴミを回収する。

スプリクトの例

「山のトイレを考える会です。今日は全道一斉山のトイレデーで活動して

います。山のトイレマナーについてご協力をお願いしています」

マナーガイドとマナー袋などを渡す。

「山を少しでも綺麗にするために、用を足した後のティッシュは持ち帰るようにお願いします」

携行品

(イ)共同装備 (事前に事務局から配布)

マナー袋、マナーガイド、トイレマップ、幟などから必要とするものを送付します。

(ウ)個人装備 (各自用意すること)

日帰り登山装備の他、軍手、ゴミ袋、火鉢、筆記用具、携帯電話など

6. その他

(ア)実施場所の調整や活動への参加を促すために実施場所と代表者をML等に公開します。

(イ)活動終了後、参加された皆さんには、活動結果報告をお出し頂くと同時に、感想などをメールや郵便にて事務局宛お寄せ願います。

(ウ)カメラをお持ちの方は、登山口やトイレデー実施の様子を撮影してください。後日、事務局までメール等で送付いただければありがたいです。

(エ)使用されたマナー袋、マナーガイド、トイレマップの残部は、お近くの方などに配布されるのにお使い下さい。関係施設などに配布をお願い出来る場合は、お願いして置いて来て下さい。

(オ)幟については、継続的に、登山口への設置や、イベントの際の使用、または登山の際に持ち歩くことをお願いできる方はお申し出下さい(そのままお使い頂きます)。それ以外の方は、幟は郵送にてご返却下さい。洗濯の必要はありません。

(カ)移動も含めて山中での事故等には当会の保険をかけています。詳細は事務局までお問い合わせください。

7. 問い合わせ先

<山のトイレを考える会 事務局>

004-0061 札幌市厚別区厚別西1条2丁目3-18 担当：小枝

電子メールアドレス；hokkaido@yamatoilet.jp

電話での問い合わせ：仲俣善雄 (090-4873-3525)

HPアドレス；<http://www.yamatoilet.jp/>

○活動結果報告書について

活動終了後、下記の事項を記載した活動結果報告書を電子メールにて送信してください。メールの件名は「〇〇山・トイレデー活動結果(月／日)」として下さい

※メール送信環境が無い場合は、事務局の仲俣まで電話（090-4873-3525）で報告願います。

<記載事項>

漏れなく簡潔明瞭にご記入下さい。

山ごとに作成し、記載事項の無い項目は抹消せずに、「——」か「無」を記入願います。

1. 実施日時；
2. 天気；
3. 山岳名；
4. 登山口・コース；
5. 参加者氏名；(複数の場合報告書記入者に※印)
6. 参加人数；
7. マナー袋の配布数；
8. マナーガイド配布数；
9. トイレマップの配布数；
10. 残部の用途；
11. 活動の概要（トイレ痕やゴミの状況など）；
12. 感想・特記事項・備考；
 幟（ ）枚・竿；（ ）本 A. 継続使用（保管） B. 返却

以 上